

2020年度事業報告

概要

<奨学生選抜>

2020年9月から11月にかけて2021年夏に派遣する奨学生の選抜試験を行い、昨年より20名増で98名の応募があったが、内3名が資格要件を満たさなかったため有効応募者数は95名（うち33名がリベラルアーツ大学に限定しない枠）となりその中から10名を奨学生として選抜した。海外からの応募は昨年10名から減少、6名であった。

<広報>

推薦枠のある大学の紹介を最優先とした。広報インターン（5名）がイベント企画、大学資料、卒業生インタビュービデオなどを制作。イベントは全てオンライン化されたが例年よりも参加者及びYoutubeチャンネル視聴者は増えた。高校生に対しては新しくインターンによるインスタ配信を開始した。高校訪問・大学訪問はコロナの影響で実施できなかった。

<募金>

卒業生及びその他一般の支援者からの寄付額はメールで新たなよびかけを行ったこともあり前年度の553万円から大幅に増加し757万円となった。その他、大口支援者に関しては奨学生のコロナ禍の中での近況レポートを送付し、今年度も継続して変わらぬ支援をいただいた。結果、受け取り寄付金は4757万円となった。

<資金運用>

前年度に積み上げた手元資金（預金、MMF）があるため、今年度は償還を迎える投資案件の再投資を早めに手当てした。今後の支払い奨学金の増加に対応し、基本財産以外の債券投資では5年以上の長期の債券への投資は極力避ける方針を取った。期中に保有している一部REITの買い増しを行った。

<奨学金給付>

22名の奨学生に対して5473万円の奨学金の給付を行ったほか、エッセイ指導など選抜試験合格者の出願支援、在学生の支援を行った。2020年度の募集要項に公表する提携大学の奨学金内容の確認を各大学と行った。コロナ禍の影響で変更があるか否かの確認を行ったが変更はなかった。